

氏名： 安田 次郎  
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系  
職名： 教授  
学位： 博士（文学）（2002 東京大学）  
専門分野： 日本史学、とくに中世の寺院史や社会史  
E-mail： yasuda.tsuguo@ocha.ac.jp  
URL： <http://www.li.ocha.ac.jp/hum/yasuda.htm>

#### ◆研究キーワード / Keywords

寺院／神社／都市／庶民  
temple / shrine / town / common people

#### ◆主要業績

- ・著書『寺社と芸能の中世』山川出版社、
- ・論文「おん祭の装束給」（『能と狂言』7）
- ・論文「室町殿の南都下向」（『文学』11 巻 1 号）

#### ◆研究内容 / Research Pursuits

前年度につづき、時代史や通史の叙述のための調査・研究をおこなった。また、おもに南都をフィールドとして前年度に開始した商人・職人や芸能者、身分などに関する調査・研究を、継続しておこなった。

## ◆教育内容 / Educational Pursuits

主として一年生を対象として行った「日本史入門講読」では、沖縄や対馬など、かつて両属的であった地域の歴史を学んだ。

「英語で読む歴史」では、ハワイや米本土の日系人の第二次大戦に関する回想録をよみ、歴史を個人の視点からみるおもしろさや課題などについて学習した。

ゼミでは前年度にひきつづき、『満濟准后日記』を講読した。

大学院では、『大乘院寺社雑事記』紙背文書の研究を継続した。

## ◆研究計画

ここ数年来行っている福智院家文書の翻刻・刊行を継続させ、成果を学界にひきつづき提供していく。これによって寺院権門としての興福寺や中世都市としての奈良の研究は、新しい段階へ進むことになるだろう。個人的には、寺院と社会の関係について、あらためてまとまった考察を行う予定。

寺院や都市に関しては、共同研究に参加する用意がある

## ◆メッセージ

ひとが今までどのようにして生きてきたのかに興味があり、じっくり材料を集めるのが好きで、自分の頭で最後まで考え抜くことができるひとを待っています。